



2024年7月24日

各 位

会 社 名 株式会社電通総研
代 表 者 代表取締役社長 岩本 浩久
(コード番号 4812 東証プライム)
問 合 せ 先 エグゼクティブオフィス 榎木 直人
(TEL. 03-6713-6160)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年2月14日に発表した2024年12月期の第2四半期（中間期）連結業績予想および通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

(1) 2024年12月期 中間期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,000	11,000	11,000	7,700	118.33
今回修正予想(B)	74,235	10,360	10,262	7,248	111.38
増減額(B-A)	235	△640	△738	△452	
増減率(%)	0.3%	△5.8%	△6.7%	△5.9%	
(ご参考)前年同期実績 (2023年12月期中間期)	69,849	10,652	10,785	7,446	114.44

(2) 2024年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	153,000	22,500	22,500	15,700	241.28
今回修正予想(B)	155,000	22,500	22,500	15,700	241.28
増減額(B-A)	2,000	-	-	-	
増減率(%)	1.3%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期通期)	142,608	21,028	21,244	14,663	225.35

(3) 修正の理由

中間連結会計期間の売上高は、製造ソリューションセグメントを中心に予想を上回る見通しとなりました。一方、第2四半期連結会計期間で不採算案件が2件発生したことから、売上総利益は計画を約2億円下回りました。加えて、新規案件獲得に向けた技術者の提案活動工数の増加、ならびにソフトウェア製品のアドオン開発サービスの計画比減に伴う技術者の非有償稼働工数の増加により、販売費及び一般管理費が計画比で約5億円増加したことから、すべての段階利益は前回予想を下回る見通しです。

通期業績については、売上高は当初の見通しに変化はないものの、2024年4月26日に株式会社ミツエーリンクスを子会社化したことによる効果を踏まえ、表のとおり予想を修正いたします。利益については、コンサルティングサービスやソフトウェア商品を中心に、第2四半期連結会計期間の受注高が16.3%増加し、下期は改善が見込まれることから各段階利益の予想を据え置きます。なお、同社の子会社化による利益への影響は、のれん償却費が生じるため、軽微となる見通しです。

以上

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。